

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36304	美容の科学 Science of Beauty Treatment	内田直子	✓	専門	2	選択	1.2後期

科目の概要

美容における基礎的なからだの構造・機能について学修する。美容成分について理解し自身のスキンケアの知識を高める。さらに将来美容や健康に関わる仕事等でより成果を上げるため、周囲のひとに対してもアドバイスができるように色々な肌質について学修する。世の中に数多くあるスキンケア商品の中から、それぞれの肌に合ったものやケアの方法を選べるようになり将来にわたり健康的な肌でいられるようにするため、この授業を通し美容に関する専門的知識を修得し、これらを活用できるようにする。美容の科学は、ディプロマ・ポリシー②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。
★一人ひとりの肌質に合ったスキンケアのアドバイスができるように美容業界での経験を活かして教授し、トラブルのない健康的な肌質を維持するケアを習得させる。

学修内容	到達目標
① 皮膚の構造を知る。 ② 美容のために必要な皮膚の機能を知る。 ③ スキンケアにおける基礎的な美容成分の知識を知る。 ④ 健康的な皮膚を保つために必要な栄養を知る。 ⑤ スキンケアの方法を知る。	① 皮膚の構造について説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ② 美容に必要な皮膚の機能を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ③ 基礎的な美容成分の効果を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ④ 皮膚の健康のために必要な栄養を説明することができる。 ディプロマ・ポリシー (②③) ⑤ 正しいスキンケアの方法を知り実際に行うことができる。 ディプロマ・ポリシー (②③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業の時間以外にもスキンケアや美容成分について積極的に興味を持ち知ろうとすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	学んだ美容の知識やスキンケア方法を実践することでトラブルの無い肌を目指していくことができる。
考え抜く力	課題発見力	自分に必要な（または不要な）美容成分やスキンケア方法は何かを考えることができる。
	計画力	
	創造力	自分とは違う様々な肌質の人にもそれぞれに合うスキンケアや美容成分を想定することができる。
チームで働く力	発信力	学んだことや知り得た知識を目的ごとにまとめ文章や発表において表現することができる。
	傾聴力	授業内容を理解しポイントをおさえてノートにまとめることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

資格との関連：美容薬学検定

学修上の助言	受講生とのルール
授業中の説明やポイントとなる部分を自分なりにまとめておくと良い。 授業の時間以外にも肌の状態やスキンケア方法について興味を持つようにすること。	欠席・遅刻・早退等は連絡すること。授業中は無断で入室しないこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	40	①		✓
				②		✓
				③		✓
				④		✓
				⑤		✓
		レポート	50	①		✓
				②		✓
				③		✓
				④		✓
				⑤		✓
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A (優) 小テストとレポートの合計 79～70点 皮膚の構造、目的に合った美容成分、栄養について説明することができる。</p> <p>S (秀) 小テストとレポートの合計 90点～80点 上記内容に加え肌の状況に合ったスキンケア方法について説明することができる。</p>	<p>C (可) 小テストとレポートの合計 59点以下 目的に合った美容成分を説明することができる。</p> <p>B (良) 小テストとレポートの合計 69～60点 上記内容に加え目的に合った栄養について説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション。 授業内容や美容に関する検定試験の種類や内容の違いについて理解する。	講義	美容に関する検定試験の種類や内容について説明することができる。	(復習) 美容に関する各検定の試験日や申込み方法などを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	皮膚の構造と機能を知る。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	皮膚の構造や機能を説明することができる。	(予習) 皮膚の構造図で名称を覚えておく。 (復習) 皮膚の構造と機能についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	スキンケアアイテム(基礎化粧品)の種類と目的・役割を理解する。 効果的な使用の順序を理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	各スキンケアアイテムの種類や目的、使用の順序を説明することができる。	(予習) 自分の使っているスキンケアアイテムの種類を確認する。 (復習) スキンケアアイテムの種類、役割、使用順序についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	髪の毛の構造と機能を知る。 頭髪のトラブル(枝毛・切れ毛・抜け毛など)とヘアケア方法を理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	髪の毛の構造や機能を説明することができる。	(予習) 自分の使っているヘアケアアイテムの種類を確認する。 (復習) 髪の毛の構造と機能、ヘアケア方法についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	肌トラブルの原因について理解する。 【くま・ニキビ・吹き出物】	◆2~4回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	肌トラブルの原因について説明することができる。	(予習) 自分におきたことがある肌トラブルをまとめる。 (復習) くま、ニキビ、吹き出物の原因をプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	肌トラブルの原因について理解する。 【しみ・ソバカス・肝斑】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を捕捉してフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) シミ、ソバカス、肝斑の原因についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	肌トラブルの原因について理解する。 【しわ・たるみ・くすみ】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) しわ、たるみ、くすみの原因についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	女性ホルモン(男性ホルモン)が肌に与える影響について理解する。	◆5~7回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	女性ホルモンの働きについて説明することができる。	(予習) 女性ホルモンについて調べる。 (復習) 女性ホルモンが肌に与える影響についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	日焼け止めの種類（紫外線吸収剤と紫外線散乱剤）の違いと効果について理解する。 フェイスパウダーの種類とその目的を知る。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を捕捉してフィードバック。	日焼け止め、フェイスパウダーの種類と目的の違いを説明することができる。	（予習）自分の使っている日焼け止めの成分を調べる。 （復習）日焼け止めの種類の違いとフェイスパウダーの種類についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	水の硬度、軟水・硬水の違いを知る。硬度の違いが肌や髪に与える影響を理解する。	◆8～9回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	軟水・硬水が肌や髪に与える影響を説明することができる。	（予習）売られている水の栄養成分表示を見てpH、硬度を調べる。 （復習）軟水、硬水の違いと水の成分の違いが肌や髪に与える影響をプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
11	肌のゴールデンタイムを知る。 肌と睡眠の関係について理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を捕捉してフィードバック。	肌と睡眠の関係性について説明することができる。	（予習）睡眠不足が肌に与える影響について調べる。 （復習）肌のゴールデンタイム、肌と睡眠についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	化粧品と医薬部外品の違いについて知る。 （美白・ニキビ・アンチエイジング成分など）	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	医薬部外品とは何かを説明することができる。	（予習）自分や家族の使っているスキンケア用品に医薬部外品と表記されているものを調べる。 （復習）化粧品と医薬部外品の違いをプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	美容成分に期待できる効果について理解する。 （くすみ・シワ・たるみ）	◆10～12回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	それぞれの成分の効果について説明することができる。	（予習）自分の使っているスキンケア用品の成分表示を確認する。 （復習）くすみ、シワ、たるみに対する美容成分についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	美容成分に期待できる効果について理解する。 （保湿・ニキビ・美白）	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容をフィードバック。	それぞれの成分の効果について説明することができる。	（復習）保湿、ニキビ、美白に対する美容成分についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	スキンケアに関する用語を理解する。 サプリメント成分に期待できる効果について理解する。 自分の肌について必要なスキンケア方法や必要な美容成分などについてレポートにまとめクラスルームに提出する。	講義（オンデマンド） 前回の授業を振り返り要点をフィードバック	それぞれのサプリメント成分の効果の説明することができる。 授業で指示のあった内容についてレポートを提出することができる。	（予習）自分の現在の肌において必要（不足している）と感じる栄養素がある場合は調べる。 （復習）それぞれのサプリメント成分の効果についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力